

# イメージング用サンプルの準備について

## 【1】イメージング用サンプル準備の際の注意点

### ● 組織ブロックの作製に関して

- ・組織の固定はしないでください。
- ・組織ブロックを凍結させる際、氷晶ができないように凍結させてください。
- ・組織ブロックの凍結は片側方向から凍結させることを推奨します。
- ・OCT compoundで組織ブロックを埋めないでください。
- ・可能な限り、新鮮凍結ブロックを作製するようにしてください。
- ・新鮮凍結ブロックからの薄切が難しい場合

#### MSイメージング

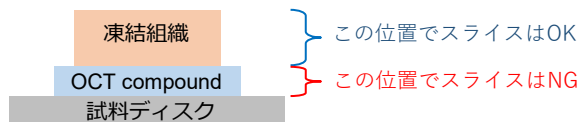
組織を3~4%のcarboxymethyl cellulose (CMC)で包埋してください。  
Carboxymethyl Cellulose Sodium Salt (推奨のメーカー及び品番は別途お問合せください。)

#### 元素イメージング

別途お問い合わせください。

### ● 組織切片の作製に関して

- ・組織切片の厚さは10  $\mu\text{m}$ になるように薄切してください。
- ・薄切する前にクライオスタットの刃の汚れをエタノール等で綺麗に拭き取ってください。
- ・凍結組織ブロックをクライオスタットの試料ディスクへ固定する際、OCT compoundを使用しますが、薄切する際は、OCT compoundが触れていない部分で薄切するようにしてください。



### ● イメージング用スライドガラスについて

#### MSイメージング

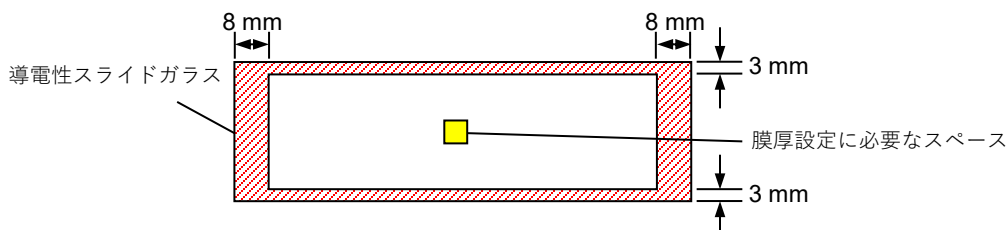
MSイメージングでは片面だけITOがコーティングされた導電性スライドガラスを使用します。  
(推奨のメーカー及び品番は別途お問合せください。)

#### 元素イメージング

コーティングされていないスライドガラス (サイズ: 2.5 cm × 7.5 cm) を使用してください。

### ● スライドガラスへの搭載に関して (MSイメージング)

- ・ITOスライドガラスの導電面に組織切片を剥がれないようにしっかりと貼り付けてください。
- ・切片搭載のスライドレイアウトは別途ご相談ください。
- ・スライドガラスの左右の端8 mmの部分と上下の端3 mmの部分(下図の赤い部分)にかからないよう、組織切片を貼り付けてください。なお、マトリックス塗布をiMLayerの膜厚設定した蒸着法で行いますので、5 mm四方のスペース(下図の黄色部分)を確保してください。(切片貼付範囲内であれば場所は問いません。)



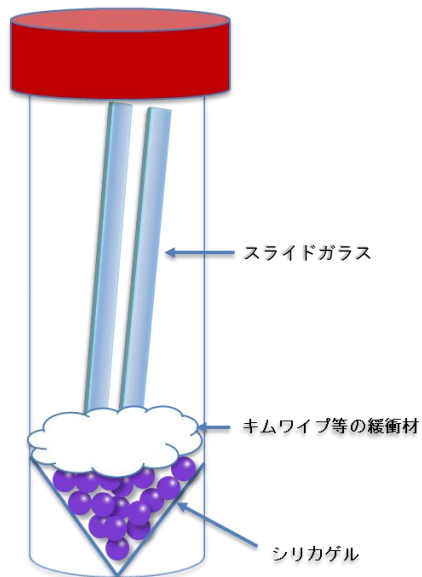
### ● 複数サンプルにおける比較を目的とする場合

比較したいサンプルを同一のスライド上に搭載してください。

## 【2】 組織切片の保存

- ・ 50 mLチューブに、シリカゲルとウエスを底に詰め、切片搭載スライドガラスを入れてキャップをし、 $-80^{\circ}\text{C}$ での保管をお願いいたします。（下図参照）
- ・ 使用期限の目安は1~2ヶ月としてください。

### 推奨例



50 mLチューブにシリカゲルを入れ、キムワイプ等でスライドガラスと接触しないように塞いで下さい。  
スライドガラスを2枚入れる際は背中合わせにして、切片が接触しないようにして下さい。

## 【3】 サンプル送付方法

サンプル送付時はコンタミネーションや切片の剥離が無いよう梱包し、解凍しないようドライアイス同封のうえ冷凍便でお送りください。  
到着後の解凍時に結露を防ぐためシリカゲルをサンプルに接触しないように同封してください。